

〔出羽國風土略記一〕出羽國略中類聚抄又近年開板の節用等にも上管拾二郡とす、延喜式に所謂拾一郡に由利を加へて拾二郡也、庄内物語を引て云、出羽拾二郡は、田河、飽海、河邊、村山、置賜、雄勝、平鹿、秋田、最上、山本、仙北、由利、出羽府、今通じて斯のごとくいへれど、出羽府といふを合すれば拾三郡なる事を訝る、古への節用集にも、右の十三所を擧て拾三郡と書る有、近年開板の節用には、仙北を除て拾二郡とす、國史を考れば、仙北は古へ山北と書て郡名とは見へず、三代實錄元慶四年二月二日、先是出羽國云、管諸軍中山北、雄勝、平賀、山本三郡、遠く去國府、近く接賊地云々、山北は郡名にあらざる故に、三郡とは書しなるべし、郡名ならば四郡と書べき所也、

〔皇國郡名志〕出羽國舊十一郡

- 最上モカシ 新庄新 金山越 舟方奥 清水相 相貝
- 村山ムラヤマ 山形關 關根天 童上立 岡古古 口砂砂 地海海 鹽川川 河口
- 置賜オキタマ 米澤關 關文柏 目赤赤 湯後湯 界小小 岩澤岩 萩生萩 小坂小 口澤口
- 雄勝ヲカサ 院内湯 湯澤湯 小野小 町古古 跡跡跡 平鹿平 鹿鹿 横手横
- 山本ヤマモト 角館角 生保生 内金金 澤六六 郷大大 田刈刈 和野和 田澤田
- 飽海アホ 庄内庄 鶴岡鶴 田菱田 畑畑畑 志津志 津丸丸 岡清清 川山山 寺松松 山坂坂 田小小 砂川砂
- 豐島トヨシマ 吹浦吹 浦湯湯 殿月月 山羽羽 黒志志 津島島 海山山 西海西 清向清
- 秋田アキタ 久保田久 保大大 久保久 森岡岡 篠館篠 館大大 館小小 繁荷荷 上場上 場綴綴 子
- 檜原ヒノハラ 野代野 代鶴鶴 形八八 森岩岩 館西西 海海海 向由利由 利本本 庄長長 濱百百 三端三 端西西 海海海 向芹芹 田松松 崎

今増一檜原由利二郡、舊有出羽郡今省之、
豐島一名曰河邊郡

○按ズルニ、本書及ビ次下ノ郡名異同一覽ノ符號ハ、山城國篇郡條ニ引ク所ノ二書ノ凡例ヲ

參照スベシ、